

市政の報告

この節目の年を迎えるにあたり、五條市を愛し、発展を願う市民の皆様とともに新たなスタートを祝うため、50周年の記念式典や記念事業を行いたいと考えておりますので、関係各位のより一層のご協力をお願い申し上げます。

道路行政

次に、「まちの活性化」を図る施策についてご報告申し上げます。

まず、「道路行政」につきましては、京奈和自動車道の五條道路が暫定2車線で全線開通し、また、大和・御所道路の大和区間をつなぐ御所区間(檀原・大和高田インター⇨仮称から五條北インター間)は、昨年10月に起工式が行われましたことをご案内のとおりであり、今後、早期開通に向け国と一体となり鋭意取り組んでまいります。

次に、国道24号の拡幅整備につきましては、国と一体となり用地交渉を精力的に行っており、すでに、本陣交差点から市役所下交差点の1工区の地権者および所有者から複数の契約締結にいたっております。

今後、引き続き、国と連携して用地交渉を行うとともに、全線1,350メートルの整備につきますと、早期実現に向け鋭意取り組んでまいります。

次に、地域高規格道路「五條新宮道路(五條市域)」につきましては、昨年8月末に現道の国道168号および310号によつて五條インターへアクセスするルート帯を基本に調査を進めていくことで合意され、現在、県において本陣交差点から国道

310号五條インターまでの予算設計が発注されております。

今後は、その結果に基づき、国および西日本旅客鉄道株式会社等の関係機関と協議が進められる予定であり、事業の早期実現に向けて、さらに県に働きかけるとともに国への陳情も強めてまいります。

街なみ環境整備事業

次に、新町地区の「街なみ環境整備事業」についてご報告申し上げます。

修景施設整備補助事業につきましては、本年度で9件の申請を受け、うち6件が完了しました。これで46件を整備し、歴史的な町並みの景観整備が進んでおります。

全国的にも貴重な伝統的町並みを保存・活用し、歴史と文化を継承する住環境づくりを目指して、10年度から事業に着手し、これまでに道路や排水施設的美装化等の整備など、地域と行政が一体となり、次世代に伝える街づくりを進めてまいりました。

同時に、街なみ伝承施設や民族資料館などは、地域における江戸時代からの歴史の発信と市民の文化交流の場として親しまれ、また、ボランティアの皆様との活動協力もいただき、市内外から観光スポットとして注目をされるまでになりました。

公園整備事業

次に、「公園整備事業」のうち、五條中央公園につきましては、現在、公園メイン入口、市斎場に隣接する公園西側の造成および

び植栽を行っております。

また、市民の皆様にはサクラやモミジの記念植樹の募集をしており、申し込みをいただいております。

五條中央公園等整備推進委員会からは、1月30日に感謝の碑を建立していただき、さらに、サクラやハナミズキを合わせて約100本を寄付していただきました。

次に、「(仮称)5万人の森公園事業」につきましては、現在、駐車場、芝生広場、植栽などを整備しております。

今後は、センターコアゾーン等の整備を行い、20年度からの供用開始に向けて取り組んでいくところであります。

地籍調査事業

次に、「地籍調査事業」についてご報告申し上げます。現在調査を進めております5地区のうち、本町1丁目・新町3丁目の各一地区、野原東2丁目の一地区および西吉野町宗川野・西野の各一地区の3地区につきましては、調査が終了し、西阿田町・東阿田町の各一地区および西吉野町宗川野・茄子原の各一地区の2地区につきましても、19年度で調査が終了する予定であります。

また、19年度から新たに二見1丁目・2丁目(A地区)の各一地区、二見2丁目・3丁目(B地区)の各一地区の2地区を調査する予定であります。

下水道事業

次に、「生活環境の整備」に関する取り組みのうち、「下水道事

業」の取り組みについてご報告申し上げます。

本市の公共下水道の普及率は、今年度末で53パーセントを超える見込みであり、さらに市民の生活環境ならびに公共水域の保全および環境保護の向上を目指し、より一層の整備区域の拡大を図ってまいります。

人権行政

次に、「人権行政」の取り組みのうち、五條文化会館、五條東児童館および五條東老人憩の家を統合し、地域間交流や世代間交流の拠点となる「複合施設建設事業」については、1月から建設工事に着手し、本年11月末の完成に向けて整備を進めております。

観光行政

次に、「観光行政」の取り組みにつきましては、合併により、本市は、赤谷オート・キャンプ場、夢乃湯、星のくに、きずみ館等の温泉、宿泊施設や新町の歴史的町並み、栄山寺、賀名生皇居跡などの社寺や史跡など、多くの観光資源を有することになりました。

観光客の誘致を図っていくためには、これら豊富な観光資源をネットワーク化した観光ルートの整備が必要であると考えております。

障害者施策

次に、「福祉行政」の取り組みのうち、「障害者施策」につきましては、障害者の方々が生み出した地域とのつながりの中で、